

表彰事例でみる女性農業者の活動(平成22年度)

表彰行事名	表彰年月日	主催者名	表彰名(大臣賞、東北農政局長賞等)	受賞者		表彰の対象	受賞活動概要	担当課
				氏名(名称)	所 在			
地産地消の仕事人	H22.9.21	農林水産省生産局	地産地消の仕事人	松田誠子 (みどりの食材連絡会 会長)	秋田県鹿角市	地場農産物の生産、流通・販売、加工その他の地産地消の取組に関する知見や経験を有する「地産地消の仕事人」を選定	市内8直売所が一つの業者として鹿角市内の学校給食へ地場農産物を供給する「みどりの食材連絡会」の会長として、会員と栄養士との意見交換の場を設けるなど、学校給食における地場農産物の使用率向上に貢献。 また、日々の食材供給活動にとどまらず、学校訪問や小学生を招いた秋田フキの刈り取り体験学習など実施。子供達への食育活動を行うほか、市民を対象とした講演会では、地場農産物を食卓へ取り入れるメリット等についても取り上げ、地産地消の理念を広める取組を実践。	農産課
平成22年度東北農政局地産地消優良活動表彰	H23.2.28	東北農政局	東北農政局長賞	たんがら味工房	福島県福島市	東北地域の地産地消活動の助長・発展に資するため、地域の個性を活かした創造的で、かつ将来性があると認められる地産地消活動を行う団体等を表彰	<p>1 活動の理念 地場産の季節にあった旬の食材を用いて、手作り加工品を作る。また、風土の中で伝承されてきた昔ながらの味を次世代に伝えていくための食育活動の推進を図る。</p> <p>2 地場農産物の加工・販売 原材料は地元農家からの購入を基本とし、地域の伝統加工品である「しそそば巻」、「南蛮味噌」、「豆味噌」等に加え、「うめぼし」、「たくあん」、「きな粉」等を製造・販売。</p> <p>3 地域と連携した活動 食育の取組とし、地元幼稚園に3月に「甘酒」、6月に「ちまき」を提供、中学校では「こんにやく」、「しそそば巻」の作り方を指導。農業体験受入の農家の支援、耕作放棄地での野菜等生産活動に協力。</p>	農産課

表彰行事名	表彰年月日	主催者名	表彰名(大臣賞、東北農政局長賞等)	受賞者		表彰の対象	受賞活動概要	担当課
				氏名(名称)	所 在			
食アメニティ・コンテスト	H23. 6. 9	農林水産省、都市と農山漁村の共生・対流推進会議、(財)農村開発企画委員会	農林水産大臣賞	庭静子 (種市ふるさと物産館「はまなす亭」) 代表作品「ほやづくし(天然ほや飯、ほや吸い物、ほやフライ、ほやキムチ、焼きほや、ほや刺し)」	岩手県洋野町	地域の特産物を活用した「食」に関する起業活動などを通じて地域づくりに貢献している優秀な活動事例について表彰	昭和50年代の後半から地元の婦人会や食生活改善推進員として、地域の水産物を利用した料理を研究し、地域食材を活用した料理に関する知見を蓄えてきたほか、商工会会員としても活躍してきた。 平成10年、旧種市町役場から「種市ふるさと物産館」の運営を打診され、同施設で地域の特産物を利用した加工品開発や調理販売を行うこととなり、種市特産のウニを中心としたメニューの提供や珍味などの販売からスタートした。 平成12年のテレビ取材をきっかけに、一年中水揚げのある種市特産の「天然ほや」を使った様々な料理を考案し、それをもとに食堂メニューの多様化や「天然ほやの燻製」など、特産加工品開発を本格的に開始した。このことにより冬期間の売上げが年々拡大し、季節雇用が中心だった従業員を現在では通年で雇用するに至っている。 運営当初から修学旅行生にウニの殻むきなどを体験させ好評だったことから、平成15年に県の「いわてグリーン・ツーリズム体験インストラクター」として登録し、本格的に体験ツアーの受け入れを開始した。 平成20年には、天然ほやの中の海水を薪で煮詰めた「ほやしお」を開発し、物産館の人気商品として定着している。これらの素材を活かした加工品開発により、事業規模はオリジナル特産品16点、来場者50千人までになっている。	農村振興課
食アメニティ・コンテスト	H23. 6. 9	農林水産省、都市と農山漁村の共生・対流推進会議、(財)農村開発企画委員会	農村振興局長	野崎さち子 (ひまわり工房) 代表作品「懐かしの味「真心のご飯類」」	青森県十和田市	地域の特産物を活用した「食」に関する起業活動などを通じて地域づくりに貢献している優秀な活動事例について表彰	平成7年から自家生産物を活用した漬物、味噌、団子、餅等の加工や郷土料理の技術習得を図り、平成10年頃からは、希望者に得意技術等を教えてきた。 平成13年、「道の駅とわだ」のオープンに向け、自宅作業小屋を改装して加工場(ひまわり工房)を設置し、飲食店営業、菓子製造業、惣菜製造業、味噌製造業許可を取得し、産直施設等でこだわり生産を自ら実践し、米を主とした農産加工による付加価値の向上を図っている。 おにぎりや混ぜごはんは、県の特別栽培農産物の認証を受けた低アミロース米「ゆきのはな」や「あかりもち」等を使用し、冷めてもおいしく食べられるように工夫して提供している。 平成20年には、「道の駅とわだ」の産直組織「産直とわだ」の加工部会商品開発班の代表となり、県の女性起業関係の補助事業を活用しながら「農アイス」を商品化し、現在では、施設を代表する人気商品となっている。また、「農アイス」の専従販売員3名を雇用するなど、地域における雇用の確保にも大きく貢献している。	農村振興課
平成22年度農山漁村女性・シニア活動表彰	H23. 3. 10	農山漁村男女共同参画推進協議会	最優秀賞(農林水産大臣賞)	芳賀よみ子	宮城県	農林水産業及び農山漁村生活並びに農山漁村の活性化に優れた活動の実績をもち、男女共同参画の推進又はいきいきとした高齢者の活動の推進のために積極的に活動している経験豊富な女性・高齢者の個人または団体を表彰	登米町に生活改善クラブを立ち上げるとともに、家族経営協定の取り組みを県外にも講師として広く紹介・普及してきた。また、宮城県初の指導農業士となり、若手後継者の指導・助言を長年続けてきた。さらに、県農業会議常任会議員として女性農業委員登用拡大にも取り組み、県内の女性農業委員で組織する「みやぎアグリレディス21」を立ち上げた。指導農業士定年退任後は、女性農業者ネットワークの初代代表として、次世代育成に取り組んでいる。	経営支援課

表彰行事名	表彰年月日	主催者名	表彰名(大臣賞、東北農政局長賞等)	受賞者		表彰の対象	受賞活動概要	担当課
				氏名(名称)	所 在			
平成22年度農山漁村女性・シニア活動表彰	H23. 3. 10	農山漁村男女共同参画推進協議会	最優秀賞(農林水産大臣賞)	鈴木春江	宮城県	農林水産業及び農山漁村生活並びに農山漁村の活性化に優れた活動の実績をもち、男女共同参画の推進又はいきいきとした高齢者の活動の推進のために積極的に活動している経験豊富な女性・高齢者の個人または団体を表彰	家庭内での役割をいち早く明確化し、農業経営の中心を農薬・化学肥料節減栽培として環境にやさしい農業を実践。平成14年に農家レストラン「四季味」をオープンし、地場産、自家製など食材にこだわり、安全・安心な食事を提供している。平成18年には家族経営協定を締結、夫・息子とともに認定農業者となり、農家レストラン部門の担当を明確化した。さらに、県指導農業者、栗原市地域審議委員、栗原市初の農業委員として活躍中している。	経営支援課
平成22年度農山漁村女性・シニア活動表彰	H23. 3. 10	農山漁村男女共同参画推進協議会	最優秀賞(農林水産大臣賞)	桑田ミサオ	青森県	農林水産業及び農山漁村生活並びに農山漁村の活性化に優れた活動の実績をもち、男女共同参画の推進又はいきいきとした高齢者の活動の推進のために積極的に活動している経験豊富な女性・高齢者の個人または団体を表彰	60歳まで保育所に勤務しており、本格的な地域活動は定年退職後だが、それまでも地域との関わりを大切に、餅作り等の技術を持っていた。平成14年に75歳で自己資金により加工施設を設置して、起業活動を開始。一番人気の笹餅は1日平均100個近くを販売している。平成18年からは地元の津軽鉄道を支援する「津鉄応援直売会」に加入し、列車内やホームでの販売をはじめ、地元の歌を披露するなど名物おばさんとして地元のPR、活性化に寄与している。	経営支援課
平成22年度農山漁村女性・シニア活動表彰	H23. 3. 10	農山漁村男女共同参画推進協議会	優秀賞(経営局長賞)	工藤桃	岩手県	農林水産業及び農山漁村生活並びに農山漁村の活性化に優れた活動の実績をもち、男女共同参画の推進又はいきいきとした高齢者の活動の推進のために積極的に活動している経験豊富な女性・高齢者の個人または団体を表彰	66歳から本格的に加工事業に取り組み、現在も安定した売上げを確保している。「岩手県食の匠」として二戸地方の食の匠らとともに「カシオペア食の技研究会」を設立して、郷土食の伝承活動等に努め、レストラン開設やイベントでの食文化の伝承活動も展開している。視察受け入れや活動事例発表、加工技術指導受け入れなどで経験や技術の伝承にも努めている。	経営支援課
平成22年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰	H23. 3. 10	農山漁村男女共同参画推進協議会	農林水産大臣賞	阿部都	宮城県	農山漁村における男女共同参画の取組の推進のため、次世代を担う地域リーダーとなることが見込まれている女性及び女性の参画を積極的に推進している組織等を表彰	JAの直売会に義母の補助として参加するうち、生産物を直接販売する楽しさ、大切さを知り、漬け物加工業の許可を取得し、農産物加工品の販売を開始。その後、JAが常設直売所を開設したことを契機に、飲食店営業の許可を取得し、自家製の米・野菜を使った弁当の販売を開始。現在では、3カ所の直売所を中心に、弁当・漬物・総菜等の販売で売り上げを伸ばし、経営の中の重要な部門として確立。JAいしのまき女性部フレッシュミズふたば会会長としても活躍している。	経営支援課
平成22年度農山漁村男女共同参画優良活動表彰	H23. 3. 10	農山漁村男女共同参画推進協議会	農林水産大臣賞	新ふくしま農業協同組合	福島県福島市	農山漁村における男女共同参画の取組の推進のため、次世代を担う地域リーダーとなることが見込まれている女性及び女性の参画を積極的に推進している組織等を表彰	組織運営において、女性参画による多角的視野による運営が重要との観点から、女性登用率の目標を25%としている。女性の登用を進めるため、平成12年から女性総代枠50名を設置するとともに女性総代への学習会を開催したり、15年に女性組織検討委員会を発足させるなど県内の他JAに先駆けての取り組みを行ってきた。女性理事の割合は21%(理事38名中女性8名:H22)、女性総代の割合21.3%(600名中128名:H21)となっており、全国トップレベルの人数と構成比になっている。	経営支援課